

# 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

- ・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

## お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないてください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

## ■ 設定のしかた

- ・凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。

## ■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



### オート便器洗浄

自動で便器洗浄する/しない  
**オート便器洗浄**

自動で便ふたを閉めたあと便器洗浄する/しない  
**便ふた閉止後洗浄モード**

自動で便器洗浄するまでの時間を定める  
**水が流れるまでの時間** ※1・2

- 1 設定 押す <操作画面1画面> 設定ボタン <操作画面2画面>
- 2 オート 押す <操作画面2画面> 次ページへボタン
- 3 オート 押す <操作画面3画面> オート機能ボタン
- 4 オート 押す <操作画面3画面> オート設定ボタン、オート便器洗浄ボタン、オート設定ボタン、便ふた閉止後洗浄ボタン、水が流れるまでボタン

5 オート 押す 押すたびに切り替わる

自動で便器洗浄  
「する」とき [入] 「しない」とき [切]

オート設定ボタン

5 便ふた閉止後洗浄 押す 押すたびに切り替わる

自動で便ふたを閉めたあと便器洗浄  
「する」とき [入] 「しない」とき [切]

便ふた閉止後洗浄ボタン

5 水が流れるまで 押す 押すたびに切り替わる

自動で洗浄するまでの時間を  
「短い」にするとき [標準]にするとき [長い]にするとき

[短い]約5秒後  
[標準]約10秒後  
[長い]約15秒後

水が流れるまでボタン

●「便ふた閉止後洗浄モード」が「入」の場合は、上記で便ふたが閉まったあと、水が流れます。

※1 「オート便器洗浄」を「切」に設定しているときは、この操作はできません。

### オートふた開閉

自動で便ふたを開閉する/しない  
**オートふた開閉**

自動で開まるまでの時間を定める  
**ふたが開まるまでの時間** ※1・2

- 1 設定 押す <操作画面1画面> 設定ボタン <操作画面2画面>
- 2 オート 押す <操作画面2画面> 次ページへボタン
- 3 オート 押す <操作画面3画面> オート機能ボタン
- 4 オート 押す <操作画面3画面> オート設定ボタン、オートふた開閉ボタン、オート設定ボタン、ふたが開まるまでボタン

5 オート 押す 押すたびに切り替わる

自動で便ふたを開閉  
「する」とき [入] 「しない」とき [切]

オート設定ボタン

5 ふたが開まるまで 押す 押すたびに切り替わる

自動で開まるまでの時間を  
「短い」にするとき [標準]にするとき [長い]にするとき

[短い]約25秒後  
[標準]約30秒後

ふたが開まるまでボタン

「短い」約25秒後  
「標準」約30秒後

※1 「オートふた開閉」を「切」に設定しているときは、この操作はできません。

## ■ ご使用のタイプを選択してください



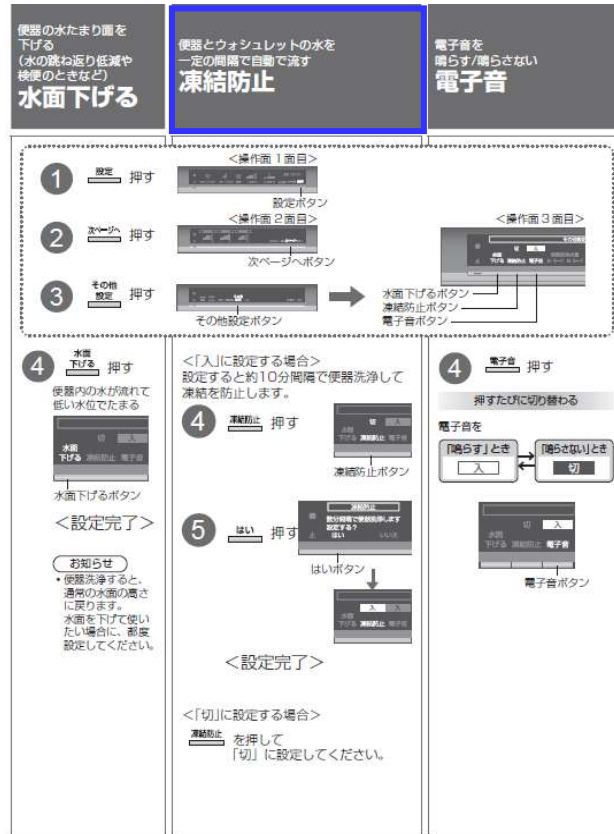
凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式


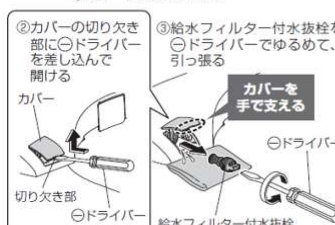
ヒーター付便器・水抜併用方式

## 流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。



# ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1 水抜栓を操作して、給水を止める  
**お願い**  
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。  
 (製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)  

- 2 ノズルを押し  
 ○ 押す  
 (給水管の圧抜き)
- 3 電源プラグを抜く
- 4 配管の水を抜く  
 ①便座・便ふたを開ける  
 ②カバーの切り欠き部に㊦ドライバーを差し込んで開ける  
 ③給水フィルター付水抜栓を㊦ドライバーでゆるめて、引っ張る  

- 5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める  
 ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、㊦ドライバーで確実に締める  
 ②「カチッ」と音がするまで押し込む  
 カバーを手で支える
- 6 電源プラグを差し込む  
 ・「運転」ランプが点灯する
- 7 ⑥を押してタンクの水を抜く<sup>※1</sup>
- 8 便座温度を「高」にする  
 ・保温のため、作業後は便座・便ふたを開めておく  
 ■再度ウォシュレットをお使いになるときは  
 ・再通水が必要です。  
**お知らせ**  
 ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。  
 ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあと便器洗浄します。


別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。  
 (タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

◎注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

## 水抜きのしかた

- 1 ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき  
 止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を閉める  
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
 水抜栓を操作して、給水を止める  
**お願い**  
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2 止水栓カバーを取り付ける
- 3 ⑥を押してタンクの水を抜く<sup>※1</sup>
- 4 ノズルを押し  
 ○ 押す  
 (給水管の圧抜き)
- 5 電源プラグを抜く
- 6 配管の水を抜く  
 ■凍結のおそれがあるときは  
 ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
 (不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)  
 ■再度ウォシュレットをお使いになるときは  
 ・再通水が必要です。

## 再通水のしかた

- 1 止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を開ける  
 または、水抜栓を操作して、給水する  
 ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
  - 2 止水栓カバーを取り付ける
  - 3 電源プラグを抜いているときは  
 電源プラグをコンセントに差し込む  
 ・「運転」ランプが点灯する
  - 4 ①ノズルから水を出す  
 (1)手または腕で着座センサー部に触れたまま、  
 (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す  
 ・水は紙コップなどで受けてください。  
 (3)手または腕を着座センサー部からはずす  
 ② ⑥を押す<sup>※1</sup>  
 ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。  
 (タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)  
 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)  
 ■残水が凍結して水が出ないとき  
 ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
  - 5 便器に水がたまってから、もう一度⑥を押す<sup>※1</sup>
- 

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあと便器洗浄します。